このたび、岡山市内高等学校ＰＴＡ連合会 保導部６月例会において、研修を受講しましたのでご報告いたします。保導部では、原則２カ月１回程度、研修の場を設けています。

○ 研修実施日時　令和５年６月２０日(火) １６時から
○ 研修実施場所　明誠学院高等学校(輪番による当番校)
○ 研修のテーマ　「保導活動におけるポイントと模擬保導」
○ 講師・所属名　岡山県警察本部生活安全部少年課 岡山少年サポートセンター
　　爲房　友佳 さま
○ 研 修 の 内 容　保導活動の声かけで注意する点
　　少年達が犯罪に巻き込まれる実例

具体例として

① 愛情を基本にして行い、穏やかな口調で相手に配慮する。
② 警察の街頭保導とは異なり、腕章を付け広く見せることで犯罪抑止を目的としている。
③ 声かけをして悩みを打ち明けられたらヤングテレフォン(添付資料参照)を教えてあげて欲しい。
④ 表向きは問題なく見えるが、ネット内では言葉が乱れている。
⑤ パパ活で性犯罪の被害にあうことがある。
⑥ 高収入アルバイトの誘いにのり、特殊詐欺に加担することがある。知らなかったではすまされない。
⑦ ＳＮＳがきっかけとなりＤＭを通じ証拠が残りにくいテレグラムというアプリでやり取りをする。学生証など個人情報を教えてしまい、脅され止められず、誰にも相談できないでいる。

「ネット上の違法情報等を探すサイバーパトロールを実施しているが、もし、少年たちがよく分からずアルバイトをしていたとしても、それが特殊詐欺に繋がっていれば加担していると判断し、警察は少年たちを逮捕もするし、取り調べも行います。ご家庭でお子さんのＳＮＳなどの使い方に気を配ってほしいです！」と爲房講師がおっしゃっていたのが印象的です。

今回の研修を受講して、スマホは便利なツールであるが、ネット上で色々な方と繋がっていることを知り、同時に危険が伴うということを我が子にも伝えたいと思いました。他人事ではないです。

報告者 保導部 宮武